

いしかわ としお  
石川 登志雄文化学部 教授  
文学士／京都大学ホームページ URL  
なし

## 主な研究業績

- 『数字でわかる仏教文化財の名称』（監著、淡交社、2013）
- 『檀王法林寺・袋中上人－京都と琉球の架け橋－』（共著、淡交社、2011）
- 『装潢史』（共著、国宝修理装演師連盟、2011）
- 『新版古寺巡礼京都』東福寺・醍醐寺・大徳寺・平等院・清凉寺等（共著、淡交社、2006～2009）
- 『新版古寺巡礼奈良』西大寺・當麻寺・新薬師寺（共著、淡交社、2010～2011）
- 『上賀茂神社 ひと・もの・まつり』（共編著、思文閣、2006）
- 『宮津市史 通史編上』（共著、宮津市、2004）
- 『京都府の歴史』（共著、山川出版社、1999）

## 研究テーマ Research theme

京都寺院史及び文化財の研究  
－その調査・管理及びその活用－

## 概要 Overview

京都文化の中核をなす寺社、とりわけ著名な大小の寺院に伝来する書跡・古文書、絵画、彫刻、工芸品、歴史資料などのいわゆる美術工芸品分野の文化財の学術調査・指定調査とその文化財史的研究を行っています。現在進めている主体的調査は、妙法院文書聖教・大覚寺聖教などです。また、南北朝時代に伝来した東福寺元版一切経調・檀王法林寺歴史資料調査・廣誠院書画陶磁器資料調査など、学生や卒業生のボランティア活動による5年～10年にわたる地道な調査活動も指導しています。調査の内容は、文化財1点ごとの名称・法量・形状・材質・時代（年代）・特記（銘文奥書）などの基本的事項を丁寧に記録し、最終的に文化財目録を作成します。

これらの文化財調査と並行して、その成果を活かして所有者における日常の保存・管理及び災害・盗難等の非常時のための文化財整理・調査の実施によって「寺院文化財総合管理データベースシステム構築」（デジタルアーカイブデータベース）の研究を行っています。これまで実施している本研究・調査としては大覚寺・東福寺・妙法院・智恩寺・寂光院・廣誠院などがあります。寺院の文化財はそれぞれの長い歴史や伝来する文化財の個性（偏差）により、江戸時代以来の寺院独自の管理方法が採られています。それらの歴史的個性ある従来からの整理・管理方法を尊重しながら、寺院に伝来する建造物・石造物なども含めた指定・未指定の全資料の総合的な文化財管理学を研究・実践しています。今年度は新規に平等院・真如堂などでも行う予定です。



妙法院の書画文化財を収蔵する宝蔵



妙法院文化財総合管理データベースシステム画面

## 応用分野 Application areas

- 市町村における寺社文化財の整理・調査及び文化財指定業務等の支援。
- 寺社文化財の総合的管理データベースシステム構築支援。
- 文化財資料をもとにした社会的・観光的資源化、生涯学習支援（講演会・史料講演会など）。

## 共同研究等へのニーズ Need for joint research

市町村文化財の整理・保存（修理を含む）・管理（災害対応を含む）、調査・研究及び社会的活用など。